

# た ま く 多摩区

た ま く いくたりよくち たまがわ にかりようようすい ゆたかな しぜん  
多摩区は、生田緑地や多摩川、二ヶ領用水などの豊かな自然と  
ともに、まちの中に古いものと新しいものが混ざり合うとても  
みりよくてき 魅力的なところでは、そんな た ま く ちゆうしん のほりと  
と 取り組みを紹介しします。

## のほりと たの 登戸をみんなで楽しいまちにしよう！

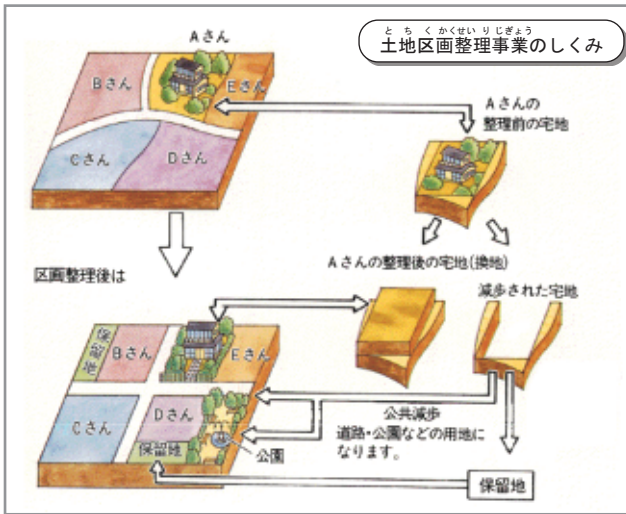
た ま く のほりと  
多摩区登戸のまちが、みんなの力で新しくして楽しいまちに生まれ変わるよ！  
まちってどうしたら楽しくなるのかな？みんなで考えてみよう！

### あた ら う か 新しく生まれ変わるまち とちくかくせいりじぎょう ～土地区画整理事業～

た ま く のほりとえき むこうがおかゆうえんえき しゆうへん ちいき むかし つく い かいどう ぞ  
多摩区の登戸駅と向ヶ丘遊園駅の周辺の地域は、昔の津久井街道沿いにできたまちで、区役所や図書館なども  
ある多摩区の中心地区です。でも、古くからのまちなので、道は細く下水道なども整備されていませんでした。  
そこで、1988年（昭和63年）に川崎市は、土地区画整理事業でまちづくりをすることに決定しました。

むかし す いえ ひ こ  
昔から住んでいる家を引っ越したりするのは大変だけど、みんなと一緒にやらないとまちは良くなりません。  
げんざい こうじちゆう しょうらい  
現在は工事中でも、将来はきっときれいなすばらしいまちに生まれ変わるでしょう。

### とちくかくせいり 土地区画整理ってなに？



そら み しやしん きいろ しょうらいすがた  
空から見た写真（黄色は将来の姿）

まちづくり事例だよ！

あたら す たの  
せっかく新しくなるまちだから、きれいで住みよい、楽しいまちにしたいよね。  
のほりと じもと じゆうみん がくしゃ しやくしょ ひと いっしょ ちえ だ あ あたら  
登戸では、地元の住民や学者や市役所の人たちが一緒になって知恵を出し合って、新しいまちをどのようにし  
ていくか考えています。

たと みず みどり のこ れきし つた くふう えきまえ しょうてんがい みせ あつ  
例えば、水や緑などの自然を残したり、歴史を伝える工夫をしたり、駅前や商店街にお店を集めたり...  
たてもの たか き けしき けしき くふう そうだん  
建物の高さや色合いを決めたりして、きれいなまちの景色をつくりだす工夫も相談されています。

あたら みりよくてき  
新しいまちを魅力的にするには、ほかにほどんなことができるかな？どんなまちに住みたいですか？  
みんなであらあ  
みんなで話し合ってみてください。

# 人が集まる楽しいまちに ~「のぼりとゆうえん隊」って知ってる?~

土地画整理事業以外にも、登戸のまちを魅力的にしようとがんばっている人たちがたくさんいます。その中のひとつ、「登戸をもっともっと楽しいまちにしたい!」と考え、いろいろなことにチャレンジしている「のぼりとゆうえん隊」の活動を紹介します。

「のぼりとゆうえん隊」って?

登戸の商業を活性化するため、川崎市が2003年(平成15年)につくった「登戸地区商業ビジョン基本計画」。

ここに書かれていることを実現しようと立ち上がった住民のグループです。登戸を自分たちの手で元気なまちにするため、どんなお店があるのかみんなに紹介したり、商店街で楽しい催しを企画してたくさんの人を集めたりしています!

元気で楽しいまちってどんなまち?



空き地を利用して、みんなが気軽にたちよれるイベント「わくわくフリーマーケット」。商売をつうじて、たくさんの人が集まってふれあうことができるんだ。知らない人もたくさんなかよになれるね。商業って不思議だね。

登戸のまちにある自然や文化施設、土地画整理事業でどんどん変わっていくまちを舞台に、みんなが集まって楽しく遊べることを実践しています。まちを元気にしてくれる、「登戸のまちの応援団」みたいだね。

## たまかん さよならパーティ

土地画整理事業で引越すため、取り壊されることになった多摩福祉館でアートイベント「たまかんさよならパーティ」。

「アートって何?」「わかんないけど、あれおもしろーい!」「とにかくぼくもやってみよう!」アーティストや地域の人たちがみんなで作った思い出は、まちが変わってもみんなの記憶として残るでしょう。



— サンキュー、たまかん。はじめまして、アート。 —

「アート」というアイデアで、みんなに大切な思い出をつくってくれたんだ!

まちづくり事例だよ!

「自分たちのまちは自分たちで楽しくしたい。」大人も子どもも、地域に住む人も働く人もみんな考えて、できることからひとつずつチャレンジしてみたら、きっと実現することができるでしょう。みんなもどうすれば「人がたくさん集まる楽しいまち」になるか考えてみましょう!